

1月24日(土)第4回「ほっと・ほらんていあ」の報告

今回のテーマは、犯罪・交通事故の被害者及びご遺族の支援について、ゲストに「公益社会法人あおもり被害者支援センター」の犯罪被害者遺族の山内久子さんと相談員の工藤美貴子さんをお迎えして、お話していただきました。

山内さんは、母から子への手紙～あなたに伝えたい想いがある～の本に掲載されている、亡くなった娘さんに対する想いを込めた手紙を読んで、私たち家族の悲しみ、つらさは今も続いております。と…涙をこらえていました。

その後で、娘さんがうけた殺人事件の経緯、加害者に対して、遺族への心理的援助、犯罪被害者は二度殺される（失職・転職等による経済的負担、裁判等による精神的・経済的・時間的負担、プライバシーの侵害、マスコミの取材・報道、周囲の人からの誤解、宗教からの勧誘、出所後の再犯に対する不安など）などと話…また、相反する複雑な感情（謝罪してほしい—絶対に許せない 極刑にしてほしい—命の限り罪を償ってほしい）を抱き苦しかったことや自分と同じような体験をしている人に出会えて、自分の悲しみや辛さを話すことができたことなど…でも、未だに、自分の体験をお話することは辛いことでもあり、特に家族の話に触れられることが辛いと…

工藤さんは、活動の紹介をしてくださいました。そして、被害者の悲しみも辛さも、一人一人みな違って、自分には、被害者の気持ちを、全部知ることはできないが、寄り添う気持ちで関わっていると…

参加者からは～自動車保険の仕事をしているので、参加しました。などの他に、東日本大震災の被災者の方から、自分の辛かった時のお話をしていただくことができました。ただ、司会進行の時間配分の不足で、参加してくださったみなさんのお話をお聴きできなかったことが残念でした。

「ほっと・ほらんていあ」は皆さんのボランティア活動に少しでも役立てていただけるようにこれからも2か月に1回開催予定です。

次回は、3月14日(土)市民参画センターで開催いたします。テーマは「自助の無いボランティアはやめるべき」サブテーマは、「～すべて自分の為にボランティアしています～」NPO 津軽広域救急支援機構事務局長と NPO 五能線活性化倶楽部理事の対馬覚さんをお招きしてお話していただきます。**ボランティアに興味のある方だけに限らずに、みなさんのご参加をお待ちしています。**

※山内久子さんがお話してくださった資料は、参画センターで閲覧できます。